

集中豪雨や台風などへの備えはできていますか??

6月から10月は、集中豪雨や台風の影響で、洪水や土砂災害が起きやすい時期(出水期)です。日頃からの備えを強化し、災害から身を守りましょう。

✓ ハザードマップで水害リスクを確認しましょう!

小松島市では、想定することができる最大規模(1000年に1回程度)の降雨による洪水や、台風などの強い低気圧に伴う高潮が発生した場合、平野部のほとんどの地域が浸水するとされています。危機管理政策課は、紙面版のハザードマップの他に、「小松島市ハザードマップweb版」を公開しており、パソコンやスマートフォン等から、洪水、高潮、土砂災害、津波等による危険区域や避難施設の情報等を確認することができます。

ご自宅や職場、学校の近くなどの水害リスクについて把握し、いざというときの避難経路や避難先などを決めておくようにしましょう。



小松島市
ハザードマップ
Web版

✓ 出水期に備え、自分でできるお家の備え

台風や大雨は、防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。台風や大雨の情報を見聞きしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう!

家の外の備え

※大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう!

- ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する。
- ・側溝や排水口は掃除をして、水捌けをよくしておく。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ入れておく。



首相官邸ホームページ
災害の「備え」
チェックリスト



家の中の備え

- ・非常用持ち出し袋の確認 ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。
- ・万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- ・断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水をためるなどして、生活用水を確保する。

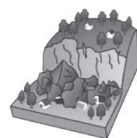
参考:気象庁パンフレット「大雨や台風に備えて」 イラスト:気象庁提供

✓ 6月は土砂災害防止月間です

大雨や台風、地震などの際には、土砂災害が発生する危険性が高まります。土砂災害は一瞬にして、尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪うなど、甚大な被害をもたらす危険な災害です。警報や土砂災害警戒情報等を確認して、適切な避難行動を心がけてください。

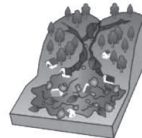
急傾斜地崩壊 (がけ崩れ)

地中にしみ込んだ水分により、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人的被害が大きい災害です。



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまう災害です。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。一般的に移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼす災害です。



小松島市防災ハザードマップWEB版より

- ※災害時に命を守るため、一時的に避難をする「避難場所」は、災害種別ごとに83カ所を指定しています。
- ※指定避難場所の一覧は、ホームページ(右の二次元コード)をご覧ください。市ハザードマップでご確認ください。

指定避難場所一覧



☎市危機管理政策課(市役所4階) ☎32・2227 / FAX 32・3522
✉bousai@city.komatsushima.i-tokushima.jp

問
||
お問い合わせ先

